

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日

2013/8/31

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4670103466号
法人名	有限会社 甲南メディカル
事業所名	グループホーム すずらんハイツ
所在地	鹿児島市中央町16-19 (電話) 099-812-8633
自己評価作成日	平成25年5月1日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成25年8月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

鹿児島中央駅の近くにあり、周囲は商店街や朝市など買い物や外出に便利な場所にあります。又、家族やご友人の面会にも交通の便がよく、分かりやすい場所となっております。利用者には、出来ることは本人でやっていただけるように見守りながら自立支援を行っております。得意の物を見つけ、楽しみや生きがいにつながるように努め利用者が自分らしく生活できるよう援助しております。職員の質の向上に努めており、毎月、職員研修を行ったり、介護福祉士の資格が取れるように資料やアドバイスをを行い資格取得に努めております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

グループホーム「すずらんハイツ」は鹿児島中央駅東口の近くの住宅街に在り、周囲に朝市、病院、美容室、公園、商店街、コンビニ、大型商業施設が立ち並んでいる。交通の便もよく家族や友人、知人も訪問しやすい環境にある。
母体の法人は関連施設を多数構え、地域住民と係りを持ちながら接し、医療連携もとれ、家族の安心が得られている機関である。
マンション型のホームは1階の駐車場から5階の屋上まであり、2階にはリビングがあり3、4階が居室となった広い共有空間になっている。
ボランティアや中、高校生、専門学校の実習や職場体験を積極的に受入れ、交流は利用者の楽しみになっている。
職員は常に笑顔で接し利用者の思いや意向を汲みとり、質の高いサービスを提供できるように取り組んでいる。
利用者の笑顔と心身ともに安心のある生活環境を目指したグループホームである。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	理念は1階エレベーター前、2階リビング、3階当直室に掲示しており、常に眼にして確認しながら介護を行っている。又、4月には理念の見直しをミーティングで話し合っております。	理念は毎年、全職員と話し合って見直しを行い1階から3階の目に触れる場所に掲示している。笑顔で接しながら利用者や地域と係れるように実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	近くに商店街や理美容室があり、普段の買い物など利用者と共に利用している。小、中、高のボランティアや介護実習、職場体験など積極的に受け入れている。	地域密着を基本に、近隣の商店街や大型施設と一緒に買物に出かけたり、町内会に加入しボランティアの清掃活動や草取りなどにも参加している。中、高生の職場体験、看護学校の実習も積極的に受け入れ、事業所が地域の一員として交流している。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	認知症の相談やグループホームなどの施設入所の相談は丁寧に応じるように心がけている。	/	/
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2ヶ月に一回、家族や民生委員、長寿あんしん相談センターの方々に参加して頂き行事の報告や感染、災害時の対応などにご意見を伺い、改善や質の向上に活かしている。	2ヶ月に1回の運営推進会議は民生委員、家族代表、行政、運営者などの参加で開催し、食べ物を部屋に持ち込まない取組みや災害時の避難場所の確保なども、そこでの意見の反映である。今後は外部の協力者の呼びかけも検討している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	福祉事務所や市担当窓口などに出向いた際に報告や相談、助言を頂いている。又、介護相談員を毎年受け入れ、利用者の希望や思いを聞き、サービスの向上に活かしている。	オムツの申請、介護保険の更新などで定期的に市町村を訪問し担当者にホームの実情やケアサービスの取組みを伝えている。年に一回の介護相談員も受け入れ、シルバーカーの申請等で協力をもらうなど、積極的に協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	職員研修などで「介護保険法において禁止の対象となる具体的な行為」を全職員が正しく理解しており、常に自分自身のケアを振り返り、身体拘束をしないケアを行っている。	管理者、職員は禁止の対象となる具体的な行為を正しく理解しており、年1回の勉強会でマニュアルを振り返り、拘束をしないケアの実践に努めている。キッチンからの見守りや、挙動不審を感じた時はさり気ない手伝いの声かけを行い、エレベーターで居室に向かう利用者には階段を先回りして出迎えるなど、安全を確保しつつ自由な暮らしの支援を心掛けている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	高齢者虐待防止関連法について全職員が理解している。又、職員研修で学ぶ機会を設けて虐待をしない介護を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	職員研修で日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、利用される方があれば管理者を中心に支援していきたい。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、解約、改定等は随時説明を行う。説明時は声に出しながら納得されたか確認を行い、同意を得るように努めている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	1階に相談、苦情のご意見箱を設置している。又、相談、苦情を受け付ける第三者委員や行政の受け付け機関の連絡先を1階、2階に掲示しており、出された意見はミーティングで話し合い、施設の向上に役立てている。	面会時や電話連絡時、年2回の家族交流会で直接、家族の思いや意見を聴いている。利用者からは日常会話で汲みとり、ホーム便りで食前と食後の状況写真や献立表も届けている。職員は家族から出された意見を連絡ノートで共有するなど、それらを運営に反映させている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	施設長、副施設長、管理者と職員は週1回、ミーティングを行い意見交換を行っている。出された意見や提案は前向きに検討を行い、より良い施設になるように取り組んでいる。	職員全員参加のミーティングは毎週行い、職員から普段は聞かれない率直な意見も出る。職員は資格取得にも積極的であり、職員間のコミュニケーションも取れている。利用者も参加する四季を取り入れた大型ちぎり絵も職員のアイデアが活かされた作品である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	施設長は週1回のミーティングや出向いた際、職員の状況を把握、時にはアドバイスや労いの言葉をかけている。資格取得など各自の向上心を大切にして援助している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>毎月、職員研修を行い、介護の質を高めるように努めている。外部の研修も機会を作り参加出来るように援助している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協議会や長寿あんしん相談センターを通じて同業者との交流や研修の機会を活かし情報交換を行い、施設や職員の質の向上に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>情報収集を行いながら利用者の希望や不安を聞きとり、要望に応え安心して入居できるように努めている。</p>		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	<p>家族の不安や求めていること、希望を聞き、質問等には丁寧に答え信頼関係を築けるように努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>利用者や家族の状況や要望を十分把握するように努めている。又、他のサービス利用が必要な場合にも対応できるように努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>職員全員が利用者と共に生活している者同士であることを理解している。利用者にできることを手伝っていただき、お互いが支えあいながら暮らせる関係を築いている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族には面会の機会を多く持って頂き、利用者様が安心して暮らせるように支援している。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	知人や友人が自由に面会に来れ、これまでの関係が継続できるように支援している。来訪時には居心地の良い雰囲気を作るように努めている。	友人、知人が自由に面会に来たり、趣味の会からの誘いもある。新聞や週刊誌を読む習慣の利用者は、他の利用者に内容を話してあげている。近場の商店街や朝市に買物にでかけるなど、これまで大切にしてきた関係継続の支援である。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者の個性を把握し、利用者同士が交わりの中で良好な関係を築けるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス利用が終了しても相談に応じることを伝え、退去後も近況を問い合わせたり、相談に応じている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に利用者や家族から希望する暮らしを聞き、職員と家族の協力を得て、実現できるように努めている。入居後も日々の関わりの中で利用者様の意向を汲み取るように努めている。	一人ひとりの暮らし方の希望を入居時に聞き、会話の困難な利用者は筆談や表情で思いを汲みとっている。食事時間も自由であり、職員は同じ対応で同じ方向性を見つめ、利用者の思いに応えるケアに努めるように朝の申し送りで確認している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前に利用者や家族、その他の関係者から話を聞き、情報を得るように努めている。入居後も折にふれ話を聞き馴染み深い物をサービスに取り入れるように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	職員は一人ひとりに眼を配り、利用者の生活のリズムや心身の状態を把握し、現状に添った生活ができるように支援している。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議で利用者、家族、職員、主治医と利用者様の暮らしが向上する為に介護方針を話し合い、介護計画を現状にあったものであるか検討している。	利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方を、家族、職員、主治医の指導を受けながら、気づきやアイデアを話し合い、その結果をもとに作成している。状況は変化するため、現状に即した必要な支援を盛り込んだ介護計画の見直しもしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	業務日誌、ケース記録、申し送りノートやひやりハットに記入し、週1回のスタッフミーティングや月1回のモニタリングを通して情報の共有を図り、介護計画の見直しに活かしている。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	病院受診時の送迎や買い物、美容室など、利用者の希望や状況により臨機応変に対応し、利用者や家族の満足が得られるように努めている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	利用者が安心して地域で生活できるよう警察、消防、民生委員の協力をお願いしている。ボランティアや職場体験、アニマルセラピー、介護実習など受け入れ、入居者が安心して生活できるように支援している。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	入居時に主治医について話し合い、利用者や家族の意向の沿うように努めている。又、受診時は適切な治療が受けられるように情報提供を行っている。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診であり、基本、家族同行をお願いしている。母体のクリニックは送迎もあり、緊急時の連携も取れている。協力医療機関の歯科などは往診もありメンテナンスも行き届いている。緊急時の受診は家族と同行し情報の共有に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の状態の変化や処方の変更などは、直ちに協力医療機関の看護師と訪問看護師に情報を送り相談、助言を受け適切な受診、看護を受けられるように努めている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	入院時には利用者の情報を医療機関に提供し、入院中は頻繁に職員が面会を行い利用者様が不安にならないように配慮している。病院関係者からも情報を得て対応可能な段階でなるべく早く退院できるように取り組んでいる。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	重度化や終末期に対する対応指針を定め、入居時に家族に説明し同意を得ている。又、状況に応じて利用者や家族、主治医と話し合い、施設で対応する場合は訪問診療や訪問看護、職員で共に協力しながら支援できるように取り組んでいる。	職員は法人合同で年2回の勉強会を行っている。年1回の職員研修では重度化や終末期の勉強会を行い、ホームの対応方針を家族に説明し文章化もしている。一度方針を決めても家族の思いは変わるので、本人と家族の安心と納得が得られる話し合いを繰り返し、チームで支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアル作成や研修を行い、緊急の対応ができるようにしているが現実には主治医の連絡して指示を仰ぐようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>火災、地震、風水害のマニュアルを作成し、消防訓練を年2回行うと共に災害時の避難体制を職員間で話し合い、全職員が理解している。又、家族には家族会議時などで避難体制を伝えている。</p>	<p>災害時のマニュアルを作成し、消火器、非常ベルの配置図も掲示されている。消防署の指導で避難場所、避難経路の確認と実践も行い、利用者が避難できる方法を全職員が身につけている。運営推進会議や家族会で報告されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入浴時や排泄時などプライバシーや個人の人格が尊重できるように配慮している。利用者への声かけや対応も人生の先輩であり、年上であることを踏まえ、常に丁寧な対応をするように心がけている。	職員は一人ひとりの人格を尊重し、名前は「さん」付け、声かけは、顔を見て笑顔で接している。利用者の個人情報の守秘義務も徹底され記録物もしっかり管理されている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	利用者の希望やできること、興味のあることに理解を示し、利用者様の納得のいく生活ができるように支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の流れは利用者の体調などを配慮し、柔軟に対応している。外出や趣味など利用者の意向を確かめながら決めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	着替え、洗顔、整髪は起床時や入浴後、その方らしい身だしなみができるように支援している。訪問理美容の方に定期的に来て頂き白髪染めなど希望があれば職員が対応している。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材を使い、季節感のあるメニューになるように努めている。食材の下準備など一緒に行い、食事も職員も同じテーブルで食べながら味付けや出来栄など話ながら食べている。利用者様の好き嫌いを把握しており、別メニューを準備する事もある。	季節を感じるように、旬の食材で常に5品が並ぶバランスの良い献立になっている。嗜好食にも配慮され、下準備の手伝いをもらいながら、誕生日には手作りケーキ、家族会にも手作りの弁当で利用者は家族と一緒に食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の量や水分摂取量は個人別に記録されている。排泄状態も参考にしながら健康状態を把握し、より快適な生活が送れるように支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、歯磨きやうがいができるようにリビングの洗面台にコップと歯ブラシを個別に準備しており、職員が声かけや見守り、介助を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	夜間はオムツ使用の利用者もいるが、日中はオムツをリハパンに変えて定期的にトイレ誘導や介助を行い、トイレで排泄ができるように支援している。	昼間はリハビリパンツで夜間に数名オムツ使用である。排泄チェック表と食前食後のトイレ誘導でパット使用が少なくなった。排便の回数が少ない利用者には体への負担を考慮しお茶にセンナを入れて飲むなど工夫している。排泄の自立に向けた支援である。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便チェックや水分摂取量チェック表などを活用して定期的な排泄があるように努めている。又、排便困難の方には乳製品や内服など個別に対応しており、定期的に排泄があるように努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	日曜日以外は毎日、入浴できる体制にあり、週3回程度を基本としているが希望があれば入浴やシャワー浴ができる。入浴の方法もほぼ本人で自立されている方や部分的介助が必要な方と利用者様に合った援助を行っている。	週3回程度の入浴であるが、希望があれば毎日入浴も可能である。入浴順番もその日を変えたり、入浴方法も自立できている利用者、入浴をためらう利用者はタイミングをみての声かけなど、本人の希望に沿えるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間、眠れるように出来るだけ昼は起きて活動していただくように支援しているが日中でも休息したい方は居室へ帰っていただきカーテンや室温など快適に過ごせるように支援している。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬のファイルがあり、薬の目的や副作用、用法、用量が確認できるようにしている。薬の処方変更は業務日誌や申し送りノートに記録し全職員が情報を共有できるようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	利用者の得意な事や好きだったことを利用者様やご家族から情報を得ており、縫物、料理、家事、野菜や花の手入れなど、一人ひとりの得意なことで役割や楽しみで気分転換できるように支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	利用者の希望に応じて近くの商店街や美容室、イベントに出かけられるように支援している。ご家族と外食や自宅などへの外出の機会が持てるように努めている。	散歩を兼ねて近くの商店街に日用品、おやつ、洋服の買物、美容室に出かけている。天気のよい平日には人ごみを避け大型商業施設に出かけたり、郊外のお寺へドライブして帰ってくることもある。外食は家族と楽しむなど日常的な外出支援である。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	利用者の希望の応じて本人でお金を管理して頂き、買い物を楽しめるように支援している。お金の管理が出来ない方も支払い時、自分で支払いができるように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	利用者の希望があれば家族へ電話を掛けたり、家族や友人の方からの電話を取り次いでいる。手紙も利用者様書かれた時は出して、届いた手紙は利用者へ渡している。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には花や季節の野菜を植えて成長を楽しみ、リビングには季節感のある手作りのちぎり絵を飾っている。又、施設全体を清潔に保ち、過ごしやすい空間を作るように努めている。	マンション型のホームは2階が広いリビングフロアと畳の間であり大きな仏壇が据えられている。対面キッチンから利用者の様子が伺える明るいフロアである。壁には利用者と職員の協同作品の大型ちぎり絵が飾られ、天気の良い日は利用者と一緒に洗濯物を干す屋上もある。ホームのなか全体が清潔に保たれた共用空間である。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	リビングにソファや和室があり、利用者が独りになりたい時など、プライバシーが得られるように配慮されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>入居時に使い慣れた家具などを持って来て頂くようお願いしており、利用者が過ごしやすいうに家具の配置を工夫し、状況に応じて使いやすいように配慮している。</p>	<p>居室のなかには洗面台、造り付けの棚とエアコンが設置され、利用者は使い慣れた家具や小物を使いやすいように配置している。高齢化が進んだため電動リクライニングベッドも据えられ、利用者が居心地よく過ごせる居室になっている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>ローカ、トイレ、浴室など手すりが付いており安全に移動できるように配慮している。施設内は段差がない設計になっており、車椅子や歩行器の方もスムーズに移動できるように作られている。</p>	/	/

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホームすずらんハイツ

66	職員は，生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない